

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サニーサイド		公表日		令和 7年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	設置基準を満たしている。	エリアの区分を意識しカムダウン・パニック対応等明確にし活用する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	手薄な日もあるが職員同士で声を掛け合い協力して支援にあたっている。	・利用者の数が不規則な時もある。 ・職員の男女比は要改善
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	利用者の動線には段差がなく、トイレには手すりも設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日除菌清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個室兼相談室があり、学習やクールダウンのスペースとして活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	面談を通じて課題を確認し、日々のミーティングで共有・意見交換を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	保護者の意向を把握できる機会を設けている。	把握した保護者の意向を全職員に対し共有・意見交換を行っていない。業務改善のため励行していきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングでの意見交換のほか、目安箱の設置も行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	菅原労務経営管理事務所 による第三者評価を行っている。	第三者評価を行った結果を全体に共有する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	13%	年間計画に基づき研修を行っている。	研修が職員の資質向上につながっているかは疑問が残る。内容の精査・見直しが必要。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	作成し、HP上に公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	6か月に1回以上の面談を行いニーズを把握し個別支援計画の作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	面談前に支援会議を行い、共通理解の下課題抽出を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	毎日記入する支援記録に支援計画を盛り込み、それらをもとに記録をとるようにしている。	計画に沿った支援を行う、という事例検討など、研修の見直し。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	13%	標準化されたツールとしてはアセスメントシート、日々の行動観察はミーティングで共有している。	職員により差が生まれやすいよう明文化されたツール等の活用。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	13%	ガイドラインをもとにした支援計画を作成している。	「地域支援・地域連携」については行われていない部分がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	なるべく工夫しているが、特性等により固定化された活動を好む利用者もいるため必ずしも固定化しないようにするわけではない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		個別活動が主となり集団活動については季節のレクなどのみであるため、日常的に行えるものを検討してもよい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%		退勤時間の都合等により顔を合わせてはできないが、LINEを活用し振り返りを行い、次の日の支援前には全体に必ず共有されるようになっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎日支援の記録をつけている。	記録をもとにした事例検討等、検証・改善につながるミーティングを行うなどの余地がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	88%	13%		職員主導で何をするか決めそれに従う支援も多く、自己決定の力を育てることに注力できているとは言えない部分がある。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	50%	50%		参加できていない。次回開催時は参加申し込み予定。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	63%	38%	上青木中央医院との連携体制を整えている。また、必要に応じて相談支援や障害福祉課等にも連絡をとっている。	連絡体制についての職員への周知不足。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	88%	13%	担任との申し送り時に情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%		現時点ではあまり行ってない。新規利用者には積極的にやっていく予定。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	63%	38%	求められた場合は情報の提供、移行支援会議への参加等行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	25%	75%	相談支援がついている利用者に関しては日々連絡を取り合っている。	研修機会等調べていけるよう努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		行ってない。現在のところ行う予定もない。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	0%	100%		参加できていない。放デイ管理者レベルには開催の案内が来ていないが、参加できる機会があるかは調べる必要あり。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時の申し送りや日々のLINEでの連絡、半年に一回の面談を通じて行っている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25%	75%	日々のやり取りを通じて家族支援はできる範囲で行っている。	家族参加の研修は行う予定はない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	13%	契約時に丁寧な説目を心掛けている。	あいまいな文言があり明文化が必要な部分も見受けられる。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	利用開始前にはアセスメントシートを作成し、その際にはご家族の意向を把握できる欄を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	面談時は作成した計画書をもとに面談を行い、面談をもとに必要な応じた修正を行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	13%	88%		開催していない。現時点では開催する予定もない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	行っている。対応の記録もファイルに残している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	現在はHPを活用し活動の内容を発信している。	保護者向けに、顔写真の使用を含めた活動写真の提供も視野に入れている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	88%	13%	している。	利用者の前で他の利用者の個人情報を扱ったり、話をしたりなど無いよう引き続き気を付けていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	88%	13%	している。	職員の資質が均一に向上されていない面があり研修の見直しも検討。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		行っていない。現在のところ行う予定もない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	わかりやすい位置にかかりつけ医の情報や緊急連絡先を掲示するなど工夫を行い、薬の場所も確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	医師の指示書が必要なほど重篤なアレルギーを持つ利用者はいないが、保護者の意向は聞きながら対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	必要な研修・訓練を行っており、安全管理も行っている。	安全計画自体を全体に共有していないため、より研修・訓練の全体像をわかりやすくするために行ってよい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%		安全計画に基づく取り組み内容を保護者には周知できていない。面談時や契約時に積極的に周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットは日報に盛り込み、事例集も作成している。またミーティングの議題で必ず再発防止のための話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	88%	13%	している。	研修内容が不十分であるという意見も踏まえ、内容が充実できるよう改善していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	設置された防止委員会の下、同意書を取り身体拘束を行った場合は記録をとっている。		